

# 1 法学部

## やる気 応援奨学金



Report  
Vol.133

法学部独自の奨学金制度  
「やる気応援奨学金」を利用した  
学生の体験をご紹介します

### はじめに

2018年2月8日から3月23日までの約1カ月半、私はやる気応援奨学金をいただいてオーストラリアのシドニーへ語学留学しました。今回の留学の目的は、「移民や難民問題の調査」「サッカーを通じたボランティア活動」「秋からの長期留学に向けた準備」の3つ。オーストラリアには2017年に大学の他のプログラムで訪問したのですが、今回はたった一人での渡航ということで、新たな発見や困難もたくさんありました。

### テーマ設定の経緯

目的の一つ「サッカーを通じたボランティア活動」というアイデアに至るきっかけは、2017年9月にフラン



メルボルンのフリンダース駅前の風景



語学学校で仲良くなったブラジル人のフェリベト

スでバックパッカーの旅をしていた際、路上でサッカーをしている難民の子どもたちと出会い、言葉が通じないなか2時間以上もサッカーをしたことでした。この経験から、大好きなサッカーを通じて社会に貢献できないかと考えたのです。また、少子高齢化による労働力不足や年金問題など、さまざまな問題に直面している日本にとつて、移民は一つの解決策とも言われています。しかし、移民を受け入れるにあたっては、治安問題や言語の問題、差別などさまざまな問題が生じます。そこで、移民大国であり難民も多く受け入れてきたオーストラリアでボラン

ティア活動やインタビュウを行うことは、今後の日本を考えるうえでとても有意義だと思いい、このテーマを選びました。

### オーストラリアでの 主な活動

留学中、私は平日の午前中は語学学校に通いました。しかし、日本人ばかりでクラス内でも日本語で話していたりと、できるだけ多く英語を話したいと思っていた私には、決して満足のいく環境ではありませんでした。そのため、放課後の国際交流会に参加するなど英語を話す機会を自ら探し、結果的

## 二度目の渡豪、 新たな発見と成長

～サッカーを通じた難民支援ボランティアと  
移民・難民問題の調査～

おおくぼはやた  
大久保 迅太

法学部法律学科3年  
神奈川県立上溝南高校出身

にはたくさんさんのオーストラリア人の友達もでき、英語力の向上につながりました。留学は予想外のことがつきものであり、臨機応変に対応する力が身についたと感じています。



ボランティアと一緒にアシスタントをしたシリア人のアンジェロ



法学部  
だより



## 模擬裁判の傍聴 はいかがですか

法学部事務室  
みやざわ とし ひと  
宮澤 俊人

難民ボランティア活動では、支援対象にトラウマを抱えている子どもも多く、最初はなかなか心を開いてくれなかったりとかかなり苦労しましたが、でさるだけ早く名前を覚えて必ず全員と話そう心がけたことで、最終的には一人ひとりと信頼関係を築くことができました。しかし、物事が軌道に乗ったころには帰国のときが来てしまい、改めて社会や子どもとの問題と深く関わっていくには、長期間の活動が必要だと

感じました。  
移民問題の調査としては、日本人初の豪ロイヤリーにインタビューを行ったり、オーストラリアの現役弁護士にお話をうかがったり、現場の声を多く聞くことができました。これらのインタビューは初めての経験だったため緊張で押しつぶされそうでしたが、今となってはとても貴重な経験になったと思います。

## 直面した多くの困難と 成長の実感

今までさまざまな国を旅してきましたが、今回は多くの予想外の困難に直面し、一番苦労した海外渡航だったと思います。先に述べた語学学校での環境に加え、シェアハウスで出会った人々は仕事や学業で忙しいためにあまり交流できなかったり、予定していた日本人とのサッカー交流会が開催でき

なかったり、予想外のことが多々ありました。当時は帰りたいと思うほど辛いときもありましたが、現地での活動を通じて自ら問題を解決する力がつき、困難な状況にあっても努力し続ける大切さを知ったことで、英語力の向上だけでなく、一人の人間として大きく成長できたと考えています。この経験は、これからの長期留学、そして社会人になってからも必ず役に立つものだと思います。

最後になりましたが、やる気応援奨学金の支援者の皆さまに心からお礼を申し上げます。

2018年も、多摩キャンパスで裁判員裁判形式の模擬裁判が行われます。これは、1年生を対象に春季に開講している「法曹論」という授業の一部(全15回の14回目)として行われるものです。  
「法曹論」は、現役の法曹(裁判官、検察官、弁護士)が3〜4回ずつリレー形式で行う授業です。法曹の役割や職務などについて、現場でのエピソードを交えながらお話しいただくことで、学生に法曹への興味・関心をより高めてもらうことを主な目的としています。授業を担当する法曹はすべて本学法学部の卒業生で、法曹界で多くの卒業生が活躍している本学だからこそ実現できる、大変貴重な授業です。

模擬裁判においても、裁判官役(3名)、検察官役(2名)、弁護士役(2名)は本学卒業生の本職が担当します(講義担当の先生も含みます)。裁判員役はこの科目の履修生が務め、それ以外の履修生は傍聴人として参加します。なお、被告人や証人は私たち法学部事務室の職員が担当します。

さて、この模擬裁判は毎年一般公開もしています。もちろんご父母の皆様さまにもご参加いただけます。都合がよろしければぜひご来場ください。  
日時：7月21日(土) 11時開廷(昼休みをはさみ、15時ごろ閉廷予定)  
会場：多摩キャンパス クレセントホール(9号館)  
\*事前予約不要(直接会場にお越しください)、途中入退場可  
なお、過年度の模擬裁判の映像は、本学公式Webサイトでご覧いただけます。  
[http://www.chuo-u.ac.jp/academics/faculties/law/video/mock\\_trial/](http://www.chuo-u.ac.jp/academics/faculties/law/video/mock_trial/)



ボンダイビーチでコロンビアとブラジルのクラスメートとサッカー